

第6回教育委員会

令和2年5月29日
午後2時30分
大阪市教育センター

案 件

報告第24号 市会提出予定案件（その16）

報告第24号

大阪市教育委員会教育長専決規則第2条第1項に基づき、下記のとおり教育長による急施専決を行ったので、同条第2項の規定に基づき報告する。

記

市会提出予定案件（その16）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、議会の議決を経るべき次の議案について、原案のとおり了承する。

（参考）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

第29条 地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合においては、教育委員会の意見をきかなければならぬ。

令和2年度5月補正予算案について

○ 予算額

		補正前の額	補正額	補正後の額
歳 入		42,517,345 千円	3,487,639 千円	46,004,984 千円
歳 出	人件費	137,822,294 千円	0 千円	137,822,294 千円
	物件費	77,269,877 千円	9,612,274 千円	86,882,151 千円
	計	215,092,171 千円	9,612,274 千円	224,704,445 千円

○ 内容

1 学校教育ICT活用事業 9,611,274千円（国庫補助金 3,487,639千円）

国は、令和2年4月7日「文部科学省緊急経済対策パッケージ」を発表し、令和2年度補正予算案に、学校休業時における子供たちの「学びの保障」として、「GIGAスクール構想」におけるハード・ソフトを一体とした整備を加速することで、緊急時においてもICTの活用によりすべての子供たちの学びを保証できる環境を早急に実現するとした。

本市においても、国の方針を踏まえて新型コロナウイルスの感染拡大により休業が長期化し教育課程の実施に支障が生じる事態に備えて、家庭での学習支援等による、児童生徒の教育機会の確保のため施策を講じる。

① 児童生徒の端末整備 8,578,154千円（国庫補助金 3,293,505千円）

令和5年度末までに整備予定であった学習者用端末の1人1台環境の整備を前倒しして令和2年度中に整備

② 緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備

1,033,120千円（国庫補助金 194,134千円）

学校側で遠隔学習を実施する際に必要となる通信装置等（カメラ・マイク・スピーカー等）を整備。

また、就学援助世帯のうちWi-Fi環境が整っていない世帯に対して、モバイルルータを貸与するとともに、それらの通信費を本市が負担することでオンライン学習環境を整備。

2 SNSの活用による児童生徒相談体制の拡充 1,000千円

新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う学校休業期間中に、様々な不安や悩みを持つ子どもへの支援を図るため、週1回開設しているSNSを活用した相談窓口を4月17日から5月6日までの期間全日開設する。

学習者用端末整備の前倒し実施について（学校教育ICT活用事業）



新型コロナウイルスの感染拡大により、休業が長期化し教育課程の実施に支障が生じる事態に備え、家庭での学習支援等による、児童生徒等の教育機会の確保のための施策を講ずる必要がある

国の緊急経済対策にかかるR2補正予算

国は、令和2年4月7日「文部科学省緊急経済対策パッケージ」を発表し、令和2年度補正予算案に、学校休業時における子供たちの「学びの保障」として、「GIGAスクール構想」におけるハード・ソフトを一体とした整備を加速することで、緊急時ににおいても、ICTの活用により全ての子供たちの学びを保障できる環境を早急に実現するため、2,292億円を計上している。

（1）児童・生徒の端末整備

国 「1人1台端末」の早期実現

令和5年度に達成するどざされている端末整備の前倒し
令和元年度補正措置（小5・6・中1）に加え、残りの中2・3・小1～
4すべてを措置

本市

令和2年度中に持ち帰りを想定した学習者用端末1人1台環境
を整備する。

●全体整備台数である児童生徒1人1台（予備機10%含む）から、当初
予算計上済の46,877台及び、既整備台数22,056台を減じた113,011台
(小71,481台、中41,530台)を整備

●既設の学習者用端末22,056台については、設定変更のうえ活用
する。

令和2年度補正予算計上経費

項目	歳出	国庫補助	差引市費
① 学習者用端末	5,085,495	3,293,505	1,791,990
うち：市単費(3クラスに1クラス分の地附措置分、予備機)	1,791,990	3,293,505	1,791,990
うち：国庫補助分(3クラスに2クラス分)	3,293,505	3,293,505	0
② 端末初期設定費	1,243,121	1,243,121	
③ 充電保管庫買入	687,500	687,500	
④ ライセンス	1,562,038	1,562,038	
合計	8,578,154	3,293,505	5,284,649

② 国庫補助金	③ R2補正整備台数	④ 3クラスに1クラス分	⑤ 残り1人1台(※)	⑥ 予備機
④ 45,000 × 73,189台(※) = 3,293,505	113,011台	27,544台	73,189台	12,278台

整備後、多額の将来負担が見込まれておりますが、国が継続的な財源措置について要望していく。

緊急時ににおける家庭でのオンライン学習環境の整備について(学校教育ICT活用事業)

(2)緊急時ににおける家庭でのオンライン学習環境の整備

国

- ① 家庭学習のための通信機器整備支援
Wi-Fi環境が整っていない家庭に対する賃与等を目的として
自治体が行うLTE通信環境(モバイルルータ)の整備を支援
(対象: 年収400万未満)
- ② 学校からの遠隔学習機能の強化
臨時休業等の緊急時に学校と児童生徒がやりとりを円滑に行う
ため、学校側が使用するカメラやマイクなどの通信装置等の整備
を支援

本市

- ① 年収400万円未満(就学援助世帯等)で、自宅にWi-fi環境が
整っていない家庭に対して、モバイルルータを貸与し、通信使用
料を負担する。

- ルータを貸与し、貸与した世帯に通信接続料を支払
1.25h(15分動画×5教科)×0.6G/h×20日=15G
15G×3,300円のプランを想定して通信使用料を計上
・ 対象:、就学援助世帯で、かつインターネット環境(データ容量無制限)のない家庭
・ 就学援助率 小:22% 中:27% インターネット環境のない家庭を46.3%と想定
【※総務省「平成30年度通信利用動向調査の結果」による】

- ② 全小・中学校にオンライン学習などを円滑に行えるよう、Webカ
メラと、スピーカーなどの通信装置を整備する。

令和2年度補正予算計上経費

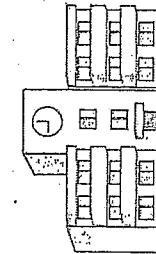
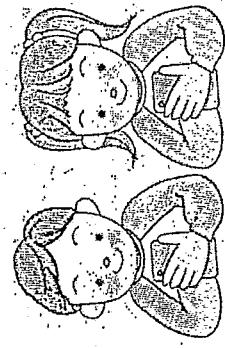
項目	歳出	国庫補助	差引市道
(1)家庭学習のための通信機器整備支援			
① モバイルルータ 買入	239,852	180,340	59,512
② モバイルルータ 通信費		238,049	238,049
③ 学習者用端末アダプター買入	527,631		527,631
④ Webカメラ・スピーカー整備	27,588	13,794	13,794
合計	1,033,120	194,134	838,986

項目	歳出	国庫補助	差引市道
(1)家庭学習のための通信機器整備支援			
(1)モバイルルータ 買入	180,340	194,134	194,134円
(2)モバイルルータ 通信費		10,000×18,034=180,340円	@10,000×18,034=180,340円
(3)学習者用端末アダプター買入	527,631		(2)Webカメラ・スピーカー @33,000(66,000×1/2)×418=13,794円
合計	1,033,120	194,134	838,986

通信使用料等多額の負担が見込まれておらず、国の継続的な財源措置について要望していく。

LIN Eを利用した相談

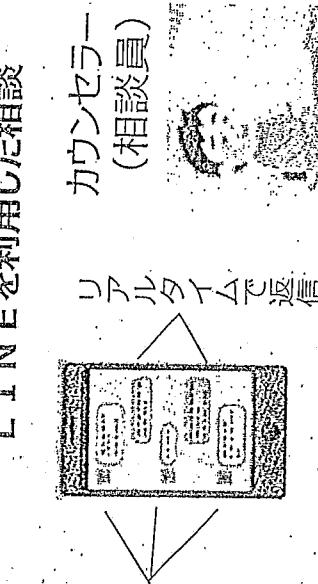
児童生徒
(相談者)



各学校にて
登録用二次元コード
利用案内のプリントを配付

児童生徒が
二次元コードを読み取り「大阪
市 児童生徒のための相談窓
口」を友だち登録

相談メッセージを送信



◆ 新型コロナウイルス感染症予防に係る臨時休業期間にさまざまな不妥や悩みを持つ子どもへの支援を図る必要があるため、
相談期間を拡充。

<当初予算>

- ① GW明け前後1週間
 - ② 夏休み、冬休み明け前後1週間
 - ③ それ以外の期間の毎週木曜日（通年）
- *②の期間のうち最初3日は13時～21時に相談実施。それ以外の実施日は17時～21時に相談を実施。

<補正予算>

臨時休業中である4/17～5/6において毎日17時～21時に相談を実施（当初から実施を予定している4/23、30、5/5、6を除く16日間を追加）。



<参考> 令和元年度の実施状況

・昨年度の開設日数：79日間
・昨年度のアセス数：約800人
・昨年度の平均対応時間：約50分

そうだんまどぐち かいせつび あんない
LINEによる相談窓口の開設日の案内

そうだんまどぐち ついか そうだん ひ づき
LINEによる相談窓口が追加されました。相談できる日は次のカレンダーの★と●の付いている日
です。相談時間は、すべて17:00~21:00です。

April 4 2020						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16★	17●	18
19	20	21	22	23★	24●	25
26	27	28	29	30★		

昭和の日、おひな祭り

May 5 2020						
日	月	火	水	木	金	土
3●	4●	5★	6★	7★	8★	9★
昭和の日	みどりの日	こどもの日	憲皇帝			
10★	11★	12	13	14★	15	16
17	18	19	20	21★	22	23
24	25	26	27	28★	29	30

★はLINEによる相談開設日です。●は追加されたLINEによる相談開設日です

令和2年度

補正予算説明資料

[一般会計（第3回）]

教育委員会事務局

令和2年度予算総括表

(参考)

区分		補正前の額			補正額			計		
		億	万	千円	億	万	千円	億	万	千円
歳入		425	1734	5	34	8763	9	460	498	4
歳出	人件費	1378	2229	4				1378	2229	4
	物件費	772	6987	7	96	1227	4	868	8215	1
	計	2150	9217	1	96	1227	4	2247	444	5

補正予算事項別明細書

歳 入

款 项 目	補正前の額			補 正 額			計			説 明
	億	万	千円	億	万	千円	億	万	千円	
17国 庫 支 出 金	316	6455	8	34	8763	9	351	5219	7	
2 国 庫 補 助 金	25	5478	5	34	8763	9	60	4242	4	
10 教 育 費 国 庫 金 補 助 金	25	5478	5	34	8763	9	60	4242	4	学校教育ICT活用事業増伴う補助金の増
歳 入 計	425	1734	5	34	8763	9	460	498	4	

歳出

款項目	補正前の額			補正額			計			説明
	億	万	千円	億	万	千円	億	万	千円	
12 教育費	2150	7770	9	96	1227	4	2246	8998	3	
1 教育総務費	247	6006	8		100	0	247	6106	8	
4 指導研修費	38	7041	4		100	0	38	7141	4	SNSの活用による児童生徒相談体制の充実
2 小学校費	953	3238	6	61	2291	5	1014	5530	1	
2 校費	234	7266	9	61	2291	5	295	9558	4	学校教育ICT活用事業の増
3 中学校費	521	2154	7	34	8835	9	556	990	6	
2 校費	134	9934	1	34	8835	9	169	8770	0	学校教育ICT活用事業の増

歳出歳入総括表

人件費、物件費、公債費を事項別に分別して財源表を作成すると次のとおりであります。

歳出事項別	歳出金額										
	人件費			物件費			公債費			計	
	億	万	千円		億	万	千円		億	万	千円
教育費	0	96	1227	4					96	1227	4
教育総務費	0		100	0					100		0
小学校費	0	61	2291	5				0	61	2291	5
中学校費	0	34	8835	9				0	34	8835	9
高等学校費	0			0				0			0
社会教育費	0			0				0			0
保健体育費	0			0				0			0
教育施設整備費	0			0				0			0
局 計	0	96	1227	4				0	96	1227	4

(参考)

財 源 内 訳								税 等			
特 定 財 源								税 等			
国府支出金			市 債		その他						
億	万	千円	億	万	千円	億	万	千円	億	万	千円
34	8763	9			0			0	61	2463	5
		0			0			0		100	0
24	572	9			0			0	37	1718	6
10	8191	0			0			0	24	644	9
		0			0			0			0
		0			0			0			0
		0			0			0			0
		0			0			0			0
34	8763	9			0			0	61	2463	5

